

第10回 野洲市民病院整備運営評価委員会 要録

1. 開催概要

- (1) 日 時：令和3年3月1日（月）午後1時30分～2時5分
- (2) 場 所：野洲市役所 3階 第1委員会室
- (3) 出席委員：上本委員長他 計13名 欠席委員計1名
- (4) 出席職員：栢木市長、川口副市長、市立野洲病院福山病院長 他

2. 議題

(1) 評価委員会からの新病院整備に対する中間報告（資料2・3）

1. これまでの経過
2. 建築専門部会の検証結果報告
3. 医療専門部会の検証結果報告
4. 評価委員会としての中間報告
5. 今後の予定

3. 委員会の要旨

●建築専門部会の検証結果

⇒一般的には、現地建替えは技術的に不可能ではない。しかしながら対案は詳細な建築条件が示されていないために確定的な判断が出来ない。一般的には『資料2 P4～5』の問題点・課題がある。

◎建築専門部会からの追加の意見

⇒東館については、現地を確認したところ、老朽化が著しい状態である。使用にあたっては、設備、内装及び構造について早急な対策を講じる必要がある。

●医療専門部会の検証結果

⇒一定の医療制限のもとでの現地建替えは不可能とは言えないが、現在の医療を継続しながらの現地建替えは、評価時点で実現困難な課題が複数あり、加えて将来出現するかもしれない懸念事項が多くある事が判明した。（本検証にあたっては、野洲市における持続できる地域医療を確保するため、「身の丈にあった病院整備を早期かつ安価に実現する」という考え方に基づき議論を進めた。）『資料2 P7～8』の課題・懸念事項がある。

●評価委員会としての中間報告

⇒一般的には、現地建替えは技術的に不可能ではない。ただし、狭隘な現病院において医療を継続しながらの現地建替えは、実現困難となる課題や懸念事項が多い。

○市民代表委員からの意見

⇒市民の立場からは、患者さんの診療・療養環境、また医療従事者の就労環境を守るためにも、一刻も早く新しい病院を建設していただきたいです。

⇒検証結果からは120億円の半額で建替えが可能であるとは思えない。半額で出来るのであれば、早期に整備していただきたい。半額で出来ない場合はどうされるのか。駅前ロータリー横で新しい病院を建設し、その後引っ越しをするということが、患者の命を守るということだと思います。

⇒健康寿命を延ばすため、地域での健診受診に対する啓発活動を行っています。そのため、身近なところに気軽に受診できる病院があると、市民としては安心できると思います。様々な課題はありますが、なるべく早く新しい病院を建設していただきたいです。

●まとめ

⇒専門部会での検証結果を基にした評価委員会でまとめた内容に市民代表委員からの意見を加え、評価委員会の意見として市長への報告とします。専門部会でかなり練っていただいていますので、この意見を踏まえて、現地建替えはハードルが非常に高いということで報告させていただきます。